

(様式第4号)

上田市塩田公民館運営審議会 会議概要

1 審議会名	上田市塩田公民館運営審議会
2 日時	令和3年11月2日(火) 午後2時から午後4時まで
3 会場	塩田公民館第一学習室
4 出席者	龍野会長、西澤副会長、羽田委員、増澤委員、井上委員
5 市側出席者	小宮山館長、田中次長、小池主査
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	令和3年11月8日

協議事項等

1 開会
2 会長あいさつ
3 公民館長あいさつ
4 報告事項 令和3年度塩田公民館事業中間報告について (事務局) 資料1に基づき説明
5 諮問について (事務局) 資料2に基づき説明
6 協議事項 (1) 諮問から答申までの進め方について (事務局) 資料3に基づき説明 (委員) アンケート、ヒアリングについてどうするか。 (委員) 一般市民に聞ける手段があるなら聞いたらどうか。 (委員) 偏りが出るかもしれない。グーグルフォームを使うやり方もある。 (委員) 客観的なデータを出してもらおうと議論がしやすい。 (委員) 公民館を利用する団体のうち、集まらなくても活動ができる団体と集まらなないと活動ができない団体があると思う。それぞれの団体にヒアリングしてみると、コロナ禍での公民館の活動状況やあり方が見えてくるのかもしれない。 (委員) 普段、公民館を利用している利用者団体や分館に聞いてみるということかどうか。 (事務局) 主に利用者団体を中心にアンケートを取って、コロナ禍での活動状況を聞いてみるということにしたい。 (2) 塩田公民館が実施している感染拡大予防対策について (事務局) 資料4に基づき説明 (委員) チェックリストの一番下に、「利用者全員で、以上の項目を確認した」とあるが、利用する前に全員で確認することは現実的に不可能である。公民館はどう考えているか。 (事務局) この文言を入れた公民館側の意図としては、チェックリストを記入する人だけでなく、利用される人全員がチェック項目を確認してもらいたいということを入れたものである。後先は構わないので、チェックシートの内容は利用される方全員で確認していただきたい。

(3) 公民館事業に係る現況と課題、今後の具体的方策について

(事務局) 資料5に基づき説明

(委員) 項目の分け方は、これで良いと思う。

(委員) 公民館の利用申請について、今、ネットでの申し込みは可能か。

(事務局) できない。過去に検討した経緯はあるが、窓口に来られた方とネットで申し込まれた方、電話で申し込まれた方の優先順位を付けることが難しいことや、公民館を利用するのは、高齢の方が多く、ネット申し込みの必要性が乏しいことなどから、見送られた。

(委員) ネットでの利用申請はともかく、ホームページ上で公民館の予約状況が閲覧できれば良い。

(委員) コロナ禍はこれからも続くと思うので、情報化社会が今より後退することは考えられない。公民館が高齢者をデジタル化に対応できるよう教育していく役割を担えるのではないかと。資料に出ている課題や方策はもう出尽くしていると思うので、まずは、今ある環境の中で、何かやってみようということが必要ではないか。公平性の確保ということばかり考えていると議論が進まないと思う。

(委員) 自治会長や分館長を対象としたパソコン講座は行っているか。

(事務局) 一般の方を対象としたパソコン相談会を月1回開催していて、毎回7～8人ぐらいの参加がある。

(事務局) ネット申請については、ホテルが行っている。ただ、システムやデータ管理は外部に委託している。公民館のように紙の台帳で管理しているわけではない。当然、委託料も支払っている。ホテルや業者に聞いてみるなど、調査研究していく必要はあると考える。

(事務局) 市の場合、事業を行うには、計画して、予算要求して、実施するまでに何年もかかる。予算要求する中で、その事業をやる価値が本当にあるのか、問われる場面もある。そういった中で、なかなか前に進めないということがある。

(委員) ネット申請の導入が前提ではない。例えば、利用者団体などに聞くなどして、今のやり方が良ければ、それで良い。

(委員) 学校でもICT化は進んでいる。子どもに一人一台タブレットを導入する際は、心配もあったが、1年半前には考えられなかった環境で授業を行っている。公民館でも、やってみれば意外と進むかもしれない。対面を重視しつつも、新しいことを探っていく時代になっていくのではないかと。

(委員) 高齢者もコロナ禍でネットやオンラインというものをやっていかなければいけない時代になってくる。公民館も何かの課題があれば、挑戦していく必要があるのではないかと。

(委員) 公民館に人が集まる場面とオンラインなどで参加する場面、両方を両立していけば良いのではないかと。

(委員) コロナになって公民館のあり方が問われていると思う。公民館の定義を見直さなければいけないのかもしれない。

(委員) 有効的な公民館情報の発信についてだが、講演会の様子をネット上で公開できないか。

(事務局) 歴史と文化を学ぶつどいの様子は、YouTubeで公開したいと考えている。ただ、課題として、講師によっては、講座の様子をネットで公開することが駄目な人もいるので、全部を公開するという事は難しい。

(委員) 公民館の情報発信については、いろいろ検討していただきたい。公民館の事業のあり方についての課題や方策を後日、委員それぞれが公民館まで寄せるということにしたい。

7 その他

(事務局) 次回は1月下旬頃に開催したい。

8 閉会